



じもと

HOLDINGS

2016
3月期

特集

平成28年度 中期経営計画の位置付け

「二つの柱を軸に企業価値の向上に向けて」

じもとホールディングスディスクロージャー誌



きらやか銀行



仙台銀行

情報誌編



- [行員インタビュー] 本業支援への取り組み
- じもとグループトピックス
- [第8弾] 宮城・山形のじもとじまん ―宮城・山形の夏のお祭り特集―

TOP Message

本業支援で 地域経済を 活性化

私たちじもとグループでは、「本気の本業支援（お客さまに真に喜んでもらえる本業支援）」を基本理念として、グループ一丸となり本業支援に取り組んでおります。

具体的には、全行員による組織的かつ継続的な活動を行っていることに加え、じもとホールディングス本業支援戦略部による高度なノウハウの提供により、お客さまのニーズにスピード感を持って応えられる体制を構築しております。

“じもとグループにしかできない本業支援”を今後さらに進化・発展させ、お客さまのあらゆる経営課題を共に解決してまいります。

株式会社 じもとホールディングス社長
株式会社 きらやか銀行 頭取

栗野 学





平成27年4月にスタートした、じもとグループの中期経営計画は、「本気の本業支援」と「本気の統合効果発揮」を2本柱に、グループの特徴や統合効果・相乗効果をさらに発揮するとともに、様々な経営環境の変化に的確に対応するため、「企業価値の向上」に取り組み、内部管理態勢の強化を目指しています。

私たちじもとグループができる一番の地域活性化策は、本業支援に取り組み、宮城と山形を「人・情報・産業」でつなぐことで元気のある企業を育てて地域に雇用を生み出し、地域社会、地方経済を元気にすることであると考えています。

金融機関だけでなく、私たちの本業支援が「**どれだけ地域社会、地方経済に貢献できているか**」を常に追求し、他の金融機関には真似のできないじもとグループの特徴を最大限発揮した地域貢献を目指してまいります。

株式会社 じもとホールディングス 会長
株式会社 仙台銀行 頭取

鈴木 隆

平成28年度

中期経営計画の位置付け

平成27年度

中期経営計画

平成27年度～29年度

「本業支援」の進化・発展

～本気の本業支援～

二つの柱

経営の効率化・合理化

～本気の統合効果発揮～

企業価値向上に向けて
内部管理態勢強化

「本業支援」の 進化・発展に向けて

- ・「組織的な本業支援」の強化
- ・震災復興支援
- ・地方創生への貢献

平成27年5月 基幹系システム統合

統一化・共同化による 経営効率化

- ・サブシステム統一化着手
- ・業務運営の統一化着手

経営環境変化に対応する 管理態勢の強化

- ・経営管理態勢
- ・内部管理態勢
- ・リスク管理態勢

平成28年度

じもとホールディングスの特徴を更に発揮します！

- 本業支援における、専門性の高い分野への取組強化(担当部態勢、外部機関連携等)
- 本業支援のレベルアップのための人材育成
- 地方創生に関する取組強化

サブシステムの具体的な統一化を進めます！

業務の共同化・集約化を目指します！

- サブシステム・業務運営等の統一化推進
- 本部管理部門の統合
- ホールディングスへの管理業務の集約化(持株会社の規制緩和を踏まえた対応)

企業価値の更なる向上に取り組めます！

- 経営環境変化に対する的確な対応(収益構造再構築、IT戦略構築等)
- IR、広報態勢の充実

内部管理態勢の強化を図ります！

- リスク管理の強化
- グループとして共通の対応実現

お客さまの想いを実現する本気の本業支援

山形市の株式会社和光様は県内有数の一般クリーニング業であり、「クリーニング WAKO」の店舗を主力とした営業を展開されています。当行と新規取引をしていたところ、鈴木社長へ何度も訪問し、事業の内容と経営課題等をお聴きしました。社長よりこれまで構想を練られていたインターネットを活用した宅配クリーニング部門を新規立上げし、非店舗展開を行っていく計画に対する想いをお聴きし、新事業実現化に向けた計画策定のお手伝いをさせて頂くこととなりました。

本業支援の取組内容

- ① ネット受注工程顧客管理とデリバリーシステム導入（リース紹介）
- ② 設備投資促進の補助金利用の提案と申請支援（採択となり補助金受取）
- ③ 事業計画と資金計画の策定支援
- ④ 設備導入前の財務見直し提案（キャッシュフロー改善）と、見直しの実施。

また、平成27年4月に米沢市の株式会社県南クリーニングセンターをM&Aにより子会社化されており、同社についても経営課題と事業計画をお聴きし、工場改修と機械設備導入による事業効率化、財務改善を同時並行でお手伝いさせて頂くこととなりました。この度、鈴木社長と実際に工場や店舗の現場へ同行させて頂きながら、新事業に対する熱い想いを感じることができました。両社の事業は平成28年4月から本格稼働されており、事業拡大と効率化やサービスの向上が図られ業績の向上が期待されます。そのため、改めて自分を信頼していただき、本業支援の取り組みで貢献させていただいたことにやりがいを感じております。

今後とも本業支援を通じて地域に貢献できる銀行員であること、そしてお客さまの想いを聴かせていただき共に悩み考え、心に響くような取り組みができるよう、継続した自己研鑽に努め精一杯がんばってまいります。



プロフィール

きらやか銀行 山形北支店

松田 茂久 課長

法人渉外担当

（1級ファイナンシャル・プランニング技能士）



〽 休日は子育てに奮闘しています。



第4子は4月に生まれたばかり！

VOICE 喜びの声



株式会社和光
代表取締役社長
鈴木 良彦 様

昭和48年、きものお手入れ専門からスタートした弊社は現在、一般クリーニング・宅配クリーニング・リネンサプライ・コインランドリーなどの事業へ展開しております。特に近年需要が増加している保管付き宅配クリーニングサービスについては、全国各地からお客様がご自身のクローゼットの代わりとして活用していただいております。

弊社の経営理念として掲げている「お客様の顔が見える仕事作り」とは、お客様が望んでいることに耳と目をすまし、そして工夫改善し喜びの感動を味わうことであります。また、企業として常に成長していくには、時代の流れに則した無理のない経営を念頭に、様々なネットワークを活用していくことに考えております。

そんな中、きらやか銀行の松田さんからは、季節変動の多いこの業界の特性を踏まえ、資金繰りに関する支援、また設備投資に関しては補助金の有効活用等、自社の抱えている問題点を親身になって共に考えていただきました。

お蔭さまで現在は新規事業に着手することもでき、順調に進んでおります。今後も良きパートナーとして弊社を含め、中小企業の発展に寄与していただきたいと願っております。

何度も面談を重ねてお客さまをサポート

登米市迫町の株式会社豊蔵コーポレーション様は、デイサービスと整骨院を営んでおられます。登米市内には48の通所介護施設があり、同業者間の競争が激しい地域です。

同社の寺澤豊志社長は、柔道整復師の資格を有しており、マッサージ・機能訓練に注力した営業を展開し、同業他社との差別化を図ってきました。

しかし、これからの厳しい時代を生き残るためには、一層の組織力の強化や計数の管理、人材の育成が重要であると考え、後継者である寺澤忍専務と今後の事業展開を検討していました。そして、当面の目標は近い将来、現在の半日型から1日型（定員30名）の通所介護施設へ移行することとし、行動を開始されました。

ちょうどその頃、当行も同社に訪問を開始し、社長や専務、事務長と何度も面談を重ね、会社の抱える課題を共有したうえで経営目標達成へ向けた提案を行ってきました。

まず第一に、利息負担を軽減して収益力を向上させつつ円滑な資金繰りを確保するため、これまでの取引銀行では無かった新たな資金調達手法をご提案しました。

次に今後、事業を継承される寺澤専務と同年代の税理士を紹介し、会計ソフトを新たに導入することで、自社でリアルタイムに収益・財務状況を把握することが可能になりました。また、様々な経営課題と一緒に立ち向かうパートナーができたことを喜んでいただいています。

現在、新施設の事業計画立案を立てているところですが、「宮城県よろず支援拠点」のコーディネーターとも情報交換を行い、当行の新たなサポート策を検討中です。

私は、今後もお客さまの声に耳を傾け行動する「本気の本業支援」を通じて、地域の発展に貢献していきたいと考えています。



プロフィール

仙台銀行 佐沼支店
佐々木 伸 支店長代理
渉外担当
(農業経営
アドバイザー)



↑ 休日は子供と一緒に公園で遊ぶなど家族サービスをしています。

本業支援の 取組内容

- ① 新たな資金調達手法の提案
- ② 経営課題の解決に共に取り組むパートナーとして税理士の紹介
- ③ 「宮城県よろず支援拠点」と連携した新たなサポート策の検討

VOICE 喜びの声



株式会社豊蔵コーポレーション
専務取締役
寺澤 忍 様

弊社は平成23年1月に法人を設立し、介護事業を開始いたしました。整骨院をスタートした個人事業時代から数えると、事業を始めて約30年になります。利用者さまに「より心を豊かに、より充実した生活を」送っていただくことをモットーに、アットホームな雰囲気サービスと機能訓練の提供を行っております。

仙台銀行と取引が始まったのは平成27年からで、期間は長くありませんが、今までの取引銀行には無かった様々な情報提供・新しい目線での提案があり、正直驚いています。日頃から佐々木さんには些細なことも相談に乗ってもらい、常に親身になって対応していただき本当に感謝しています。

現在、半日型の2つの施設を統合し、整骨院を併設した定員30名の1日型デイサービスを新設する計画があります。今後も良きパートナーとして、弊社の事業発展・地域の介護福祉の充実に向け、アドバイスとサポートをいただければと思っています。

きらやか銀行 硬式野球部 東北大会優勝！東京ドームへ



優勝後、胴上げされる
大向監督



平成21年



平成22年



平成23年



平成24年



平成25年



平成26年



平成27年



平成28年

きらやか銀行 硬式野球部は第87回 都市対抗野球二次予選で優勝し、悲願の全国大会出場を決めました。1952年創部の硬式野球部の歴史では初めてのことであり、山形県勢としても66年ぶりの都市対抗全国大会出場となりました。銀行業務と野球を両立するきらやか銀行の硬式野球部は皆様の応援を受け、更に邁進してまいりますので、これからも応援をどうぞ宜しくお願いいたします。



優勝のガッツポーズ



City-opposition Baseball Games



小野寺選手の気迫の
ヘッドスライディングで加点



4番建部選手のホームラン



エース小島投手の力投

きらやか銀行初！新店舗オープン

当行は、平成28年5月16日に、山形県天童市芳賀土地区画整理地内に、新店舗をオープンいたしました。きらやか銀行として初の新店舗となる天童南支店では、お客さまの更なる利便性の向上を図るため、個人のお客さまに特化した店舗として、コンサルティングステーションを併設することで住宅ローンやマイカーローンなどの各種ローン等の受付、資産運用等、ご相談しやすい店舗づくりを行ってまいります。



天童南支店オープン

地方創生！地域振興に向け「山形市」との人事交流実施

山形市と当行を含めた県内3地銀は、地域振興、地域活性化に向けた連携を実施するため、協力協定を締結しました。平成28年4月より、当行から山形市に行員を派遣し、山形市からは職員を当行本業支援部に派遣と相互人事交流を行っております。山形市との相互人事交流は今回が初めてであり、じもとホールディングスの情報網を活かし、仙山交流の促進による地域経済の発展に積極的に努めてまいります。



山形市との連携協力協定締結式

地元の教育支援へ寄与！小学生の表現力の向上を図る「くらしの文集」発刊

一般財団法人きらやか銀行教育福祉振興基金は、教育・学術の振興及び社会福祉・交通安全施設・生活環境の拡充整備等の助成を行い、教育水準の向上並びに地域社会に貢献することを目的としております。

その中で「くらしの文集」発刊は、山形県の小学校に通う子供たちがくらしを見つめ、考えたことや感じたこと、経験したことなどを作文にすることによって、子供たちの生活に潤いを持たせ表現力の向上を図ることを目的としております。くらしの文集発刊は平成27年度で33周年を迎えました。



平成27年度「くらしの文集」 地元の小学校へ贈呈

高齢者見守り協定を締結!! ～地域福祉の向上に貢献～

当行は、地方創生に関する取り組みの一環として県内全ての地域金融機関と連携し、宮城県と「高齢者地域見守りに関する協定書」を締結いたしました。このような協定締結は、全国で初めてとなります。

本協定は、地域に暮らす高齢者が、安心して暮らすことができることを目指して、県と金融機関が相互に協力し、地域の見守り活動を通じて地域福祉の向上を図ることを目的としております。

本協定では、参加金融機関の職員が業務の中で高齢者の異変に気付いた場合、市町村や警察、消防に連絡するなど、地域の見守り活動に協力してまいります。

当行は、今後も地方公共団体との連携を強化し、地方創生に関する積極的な関与・協力を通じて、地域の復興・発展に貢献してまいります。

参加
金融機関

仙台銀行、七十七銀行、杜の都信用金庫、宮城第一信用金庫、石巻信用金庫、
仙南信用金庫、気仙沼信用金庫、石巻商工信用組合、古川信用組合、仙北信用組合



県内10地域金融機関が参加

高齢者地域見守り協定 締結式



宮城県との協定締結

商談会で販路拡大を支援!! ～愛知銀行・栃木銀行と連携～

当行は、お取引先企業の販路拡大の支援のため、全国各地の銀行と連携して商談会等を開催しております。

平成28年2月に、愛知銀行主催「愛銀ビジネス商談会」へお取引先企業9社の参加をサポートいたしました。愛知県の製造業との商談機会を提供することで、新たなビジネスチャンスの拡大につなげました。

また、平成28年3月には、栃木銀行と連携して「みやぎ×とちぎ うまいもん祭 in 宇都宮」を開催いたしました。当行お取引先企業6社が参加し、牡蠣や塩辛などの販売会や、栃木県内の企業との「ミニ商談会」を開催いたしました。

当行は、今後もお客さまのニーズに合った本業支援を実践し、地元企業をサポートしてまいります。



愛銀ビジネス商談会



みやぎ×とちぎ うまいもん祭 in 宇都宮

被災地へ新店舗オープン!! ～被災地の復興をさらに応援～

●歌津支店が新築オープン

歌津支店（宮城県南三陸町）は、東日本大震災の津波で全壊し、志津川支店と同居して営業しておりましたが、平成28年4月に、同町歌津地区に新築オープンいたしました。

新店舗には、相談コーナーや地域のお客さまが自由にご利用いただけるコミュニティスペースを設けており、被災地のお客さまの利便性をさらに高めてまいります。



地域の皆さまへコミュニティスペースを無料開放

●荒井支店・南小泉支店が新築オープン

荒井支店・南小泉支店は、平成28年5月に仙台市若林区の荒井西土地区画整理地内に新築オープンいたしました。

荒井西地区は、沿岸部被災者の防災集団移転地区となっており、当行は新店舗出店により被災者の利便性回復に貢献してまいります。ゆとりある駐車場や相談コーナー、コミュニティスペースを設け、地域に密着した金融サービスをさらに提供してまいります。



新店舗開店を祝いすずめ踊りを披露

●平成29年春、女川駅前出張所がオープン予定

当行は、平成29年春ごろを目途に、女川出張所を現在の復興仮設商店街から女川駅前商業エリアへ移転いたします。

女川出張所は、当行女川支店が東日本大震災の津波で全壊したことにより、平成23年12月に、女川町復興仮設商店街に新設いたしました。今般、女川駅前商業エリアの完成にともない、更なる女川町の復興、町づくりの支援のため同地区へ新築移転いたします。



女川駅前出張所完成予想図

創立5周年記念 株主優待の実施

じもとホールディングスでは、平成29年10月1日に創立5周年を迎えるにあたり、株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表すため、5周年記念株主優待を実施することといたしました。

対象は、平成29年9月30日現在、1,000株以上の株式を1年以上継続して保有(※)している株主様で、クオカードや地元宮城・山形の郷土名産品のほか、全国の特産品等の商品を贈呈いたします。贈呈の時期は、平成29年12月中旬の予定です。

【株主優待の内容】

保有株式数	優待の内容
1,000株以上3,000株未満	クオカード500円
3,000株以上5,000株未満	クオカード1,000円
5,000株以上10,000株未満	3,000円相当の商品
10,000株以上	5,000円相当の商品

※「継続して1年以上保有」とは、基準日(平成29年9月30日)までの株主名簿において、平成28年9月30日及び平成29年3月31日の当社株主名簿に同一株主番号で連続して3回記載または記録された1,000株以上を保有している株主様が対象となります。

宮城県へ震災復興寄附金を贈呈

じもとグループのきらやか銀行と仙台銀行は、平成28年3月、宮城県に震災復興への寄附金200万円を寄附いたしました。

これは、平成27年10月～平成28年1月に実施したグループ共同キャンペーン「じもと・じまんキャンペーン」において、お客さまにお預け入れいただいた定期預金実績の一定割合を復興支援金として被災地へ寄附したもので、今回で2回目となります。

今後もじもとグループは、様々な形で、震災復興と地域経済活性化に貢献してまいります。



宮城県へ寄附

損害保険ジャパン日本興亜(株)との地方創生に係る連携協定の締結

じもとグループのきらやか銀行と仙台銀行は、平成27年11月、損害保険ジャパン日本興亜(株)との間で、地方創生に係る包括的業務連携協定を締結いたしました。

損害保険ジャパン日本興亜(株)は、農林水産物の6次産業化や観光誘致、空き家対策など、地方創生に関する多彩なメニューを提供しております。今般の連携は、相互のノウハウを活用して地方自治体への支援を行うことで、地域の特色を活かした魅力ある地域社会の形成と発展に寄与することを目的としております。

じもとグループは、本協定の締結を機に、宮城、山形両県の持続可能な成長を目指して、さらなる地方創生の推進に取り組んでまいります。

じもとホールディングス連結業績

(単位:百万円、%)

	27年3月期	28年3月期	前年同期比	増減率
連結経常収益	42,755	42,522	△233	△0.5
経常利益	6,751	5,283	△1,467	△21.7
親会社株主に 帰属する 当期純利益	5,986	4,889	△1,096	△18.3

平成28年3月期の連結業績は、連結経常収益は425億22百万円、経常利益は52億83百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は48億89百万円となりました。

きらやか銀行・仙台銀行(単体)の2行合算

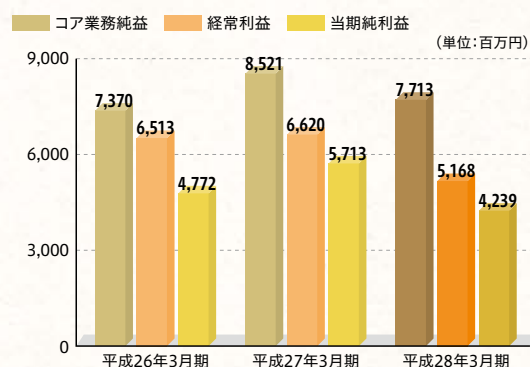
(単位:百万円、%)

	2行合算			
	27年3月期	28年3月期	前年同期比	増減率
経常収益	42,213	41,812	△400	△0.9
業務粗利益	34,889	32,604	△2,284	△6.5
経費 (除く臨時処理分)	25,290	25,789	499	1.9
業務純益	10,210	7,630	△2,579	△25.2
コア業務純益	8,521	7,713	△807	△9.4
経常利益	6,620	5,168	△1,451	△21.9
当期純利益	5,713	4,239	△1,473	△25.7
貸出金	1,599,527	1,677,897	78,369	4.9
預金等 (譲渡性預金を含む)	2,368,310	2,346,118	△22,192	△0.9
有価証券	753,315	682,674	△70,640	△9.3

2行合算の経常収益は、前年同期比4億円減少の418億12百万円となりました。

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、役務取引等利益の減少に加え、経費が増加したことから、前年同期比8億7百万円減少の77億13百万円となりました。

経常利益は、前年同期比14億51百万円減少の51億68百万円、当期純利益は前年同期比14億73百万円減少の42億39百万円となりました。



宮城・山形の



種飛ばし大会に参加する増子主任

ここ寒河江市では『全国さくらんぼの種吹きとばし大会』が行われています。ルールは簡単佐藤錦を一粒食べ『チェリーGO!』の合図で吹き飛ばします。ここ寒河江市では個人記録は勿論のこと、参加者3,000人を目指しております。

Profile

入行8年目。野球部には平成21年から在籍し選手及びマネージャーを行っていました。現在はOBとして各大会に上司や家族、友人と応援に行きます。当店では野球部応援として球場では横断幕を掲げ、オリジナルTシャツを作成、着用し応援。支店内では野球部応援ディスプレイを行っています。当店には現在野球部が2名在籍していますが、大会や遠征での勝敗の報告を受けると、支店も盛り上がり野球部が頑張っているから、私たちが頑張ろうと仕事意欲が湧いているのも事実です。

現在は融資業務に携わっており、本業支援や融資窓口対応等を通し、選ばれる銀行を目指しお客さまと真剣に向き合い、日々の業務に取り組んでいます。

きらやか銀行 寒河江支店 主任 増子 賢太郎



平成22年集合写真
増子主任は2列目センター



寒河江支店は「チーム川越」として全員で野球部を応援しています

都市対抗野球
東北大会 優勝記念
野球部OB特集



ギネスに
挑戦!!
全国さくらんぼの種
吹きとばし大会

赤川花火大会は、鶴岡市内の赤川河畔をフルに活用したオリジナル競技会で毎年8月第3土曜日に開催されています。この花火大会は全国トップクラスの花火師が競う「全国デザイン花火競技会」でもあり、「日本の花火100選」にベスト10入りし、毎年全国各地から多くの人々が訪れるほど人気が高く、花火と音楽のコラボもまたすばらしく、なかでも感動のエンディングは必見です!

Profile

野球部には昭和60年から在籍し、ポジションはサードでした。当時企業チーム(TDK)から初勝利を挙げたのもこの頃です。我々OBも悲願であった東京ドーム出場を後輩諸君がよくぞ叶えてくれました。大向監督はじめ選手諸君のドームでの『きらやか旋風』に期待します!

当行の本業支援をますます進化させる為に、現場に足を運びお客さまの想いの実現に向け一緒に汗をかき問題解決を図ってきたいと思います。

きらやか銀行
鶴岡中央支店 支店長
齋藤 秀

野球部OB
野口 龍大課長



齋藤支店長

「軸心染む、しあわせ花火」
赤川花火大会
是非一度は、観にきてのお!

山形市の夏のお祭りはなんといっても「花笠まつり!」きらやか銀行も毎年参加しており、仙台銀行との合同参加、また野球部も参加し夏の夜を盛り上げます。

Profile

野球部には平成22年から在籍。ポジションは投手でした。今回のドーム出場は私たちにあって悲願達成です。これまで当行野球部は多くの方々に支えられてきました。その恩返しのできたのではないかと思います。東京ドームでは、山形市代表として胸を張ってきらやか旋風を巻き起こしてほしいと思います。現在法人渉外を担当しています。当行が掲げる本気の本業支援を心掛けてお客さま訪問時は元気に挨拶がモットーです。

お客さまのニーズに応えられ感謝されたとき仕事のやりがいを感じます。

野球で培った前向きな心・粘り強さを活かして日々成長できるよう邁進してまいります。

きらやか銀行
城西支店 主任
高橋 峻也



高橋投手
(2011年)



山形の夏の夜を彩る
山形花笠まつり

夏のお祭り特集



写真提供: 仙台市観光課



宮城・仙台の夏のおまつりといえば、「仙台七夕まつり」です。東北三大祭りの一つで、伊達政宗公が文化向上のために七夕を奨励したのが始まりとされています。前夜祭では花火が打ち上げられ、まつりを盛り上げます。期間中は、趣向を凝らした笹飾りが市内を彩り、全国各地から多くの人が集まります。当行でも、毎年クリスロード商店街とサンモール一番町商店街に七夕飾りを飾り付け、おまつりを盛り上げています。

Profile

私は現在、預金・融資窓口を担当しています。多様な銀行業務を通じて多くのお客さまと出会うことで、自分自身が成長し日々の仕事へのやりがいにつながっていると感じています。お客さまや周囲への目配り・心配りを大切に、信頼される銀行員となれるよう、これからも日々努力してまいります。

仙台銀行 中央通支店 佐々木 彩美



毎年、支店前に七夕飾りを飾り付けます



写真提供: 栗原市田園観光課

宮城・仙台の夏の風物詩！ 仙台七夕まつり

栗原市の「伊豆沼・内沼はすまつり」は、毎年7月下旬～8月下旬に開催され、沼一面に淡いピンク色の見事な蓮の花が咲き誇ります。まつりの期間中は湖上遊覧も楽しめ、船で進みながら手が届くほど間近に咲いている蓮の花をはじめとする水面の植物を楽しむことができます。特に、午前中の清々しい空気の中で楽しむ風景は格別です。

Profile

私は現在、渉外を担当しています。私が心がけていることは、「本業支援を通じた提案型の営業」です。お客さまのニーズを発掘し、求められる期待以上の行動ができるよう業務に励んでいます。これからも、本業支援を通じて他の金融機関を寄せ付けぬ実績と信頼関係をお客さまと構築できるよう努力してまいります。

仙台銀行 築館支店・高清水出張所 佐々木 祥之



見事な蓮の花が一面に咲き誇る！ 伊豆沼・内沼はすまつり

絵灯籠で夏の夜を 幻想的に演出！

齋理幻夜

丸森町の「齋理幻夜」は、蔵の郷土館「齋理屋敷」とその周辺を舞台に開催され、丸森町の夏の風物詩として親しまれている一夜限りのおまつりです。まつりでは、約1,000基余りの手作りの絵灯籠(えとうろう)に火が灯され、幻想的な空間を演出します。かつての豪商の屋敷で大正ロマンの余韻に浸りながら、昔懐かしい昔話や紙芝居など、趣向をこらした様々な催しを絵灯籠に囲まれながら楽しむことができます。

Profile

私は現在、預かり資産渉外を担当しています。お客さまは当行と古くからお取引いただいている方が多く、訪問すると皆さん温かく迎えてくださり、話が弾みます。お客さまとの会話の中からニーズを捉え、要望に沿った商品提案ができるようじっくり話を聞くことを心がけています。これからも“じもと”の方々に愛される銀行でいられるよう、明るく笑顔で頑張ります！

仙台銀行 丸森支店 主任 松川 純子

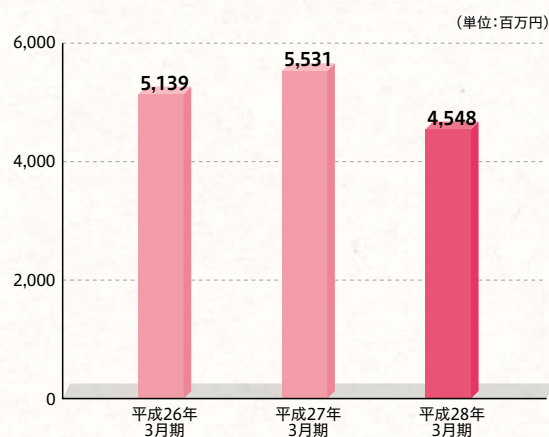


写真提供: 丸森町観光物産振興公社

業績ハイライト(単体)

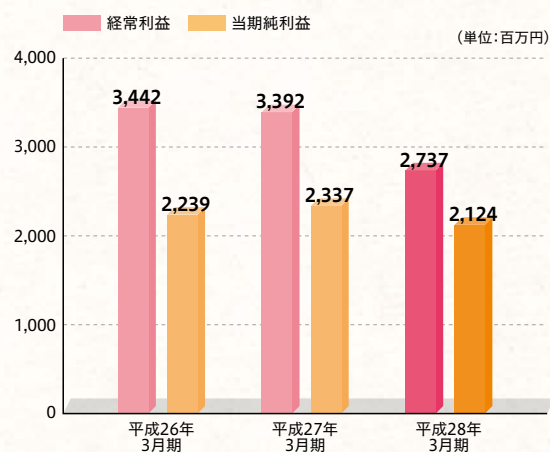
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益や役務取引等利益が減少し、また、システム移行に伴う費用等により物件費が増加したことなどから、前年同期比9億83百万円減少の45億48百万円(増減率△17.7%)となりました。



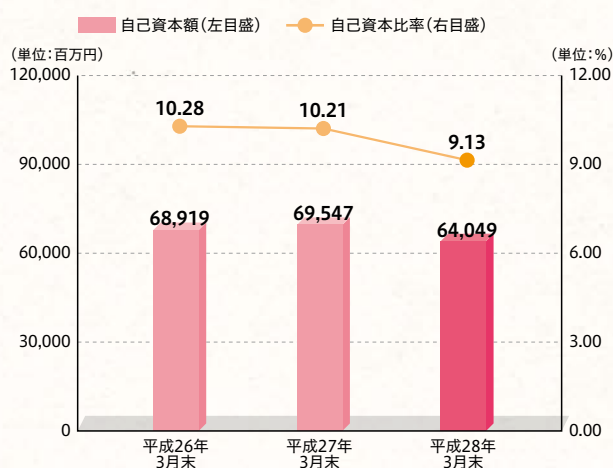
経常利益・当期純利益の状況

経常利益は前年同期比6億55百万円減少の27億37百万円、当期純利益は前年同期比2億12百万円減少の21億24百万円となりました。



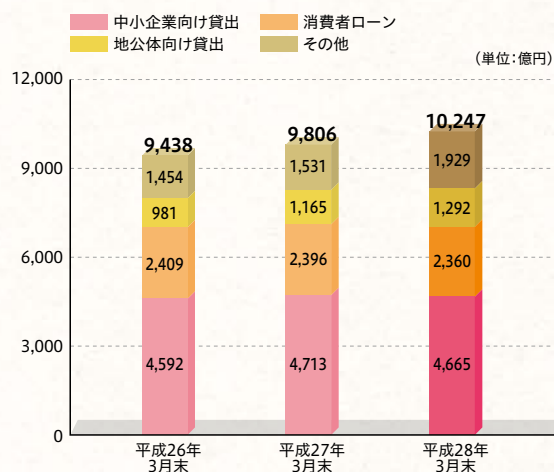
自己資本比率の状況

自己資本比率は、劣後特約付社債等を期限前に償還したことで自己資本額(分子)が減少。また、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、平成27年3月末比1.08ポイント低下の9.13%となりました。



貸出金の状況

貸出金残高は、市場性ローンや地方公共団体向け貸出が増加したことなどから、平成27年3月末比440億52百万円増加の1兆247億11百万円となりました。

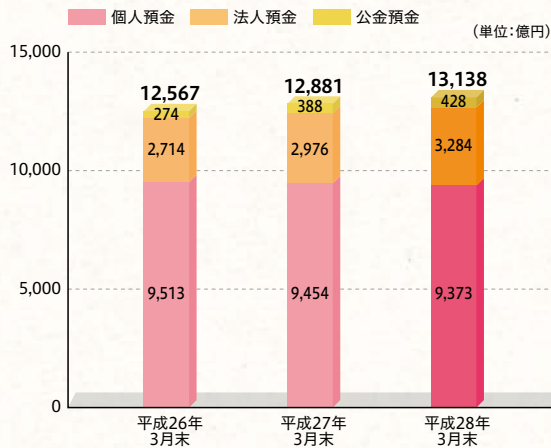


用語解説

■ **コア業務純益** 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。

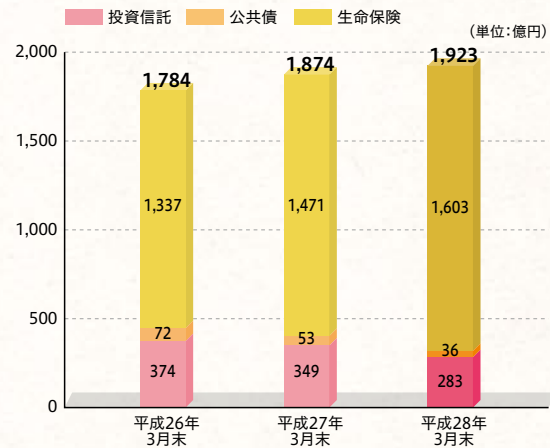
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、法人預金及び公金預金が増加したこと
から、平成27年3月末比257億8百万円増加の1兆
3,138億18百万円となりました。



預かり資産の状況

預かり資産残高は、安定志向にあるお客さまニーズ
の取込みなどにより生命保険残高が増加したことなど
から、平成27年3月末比49億10百万円増加の1,923億
14百万円となりました。

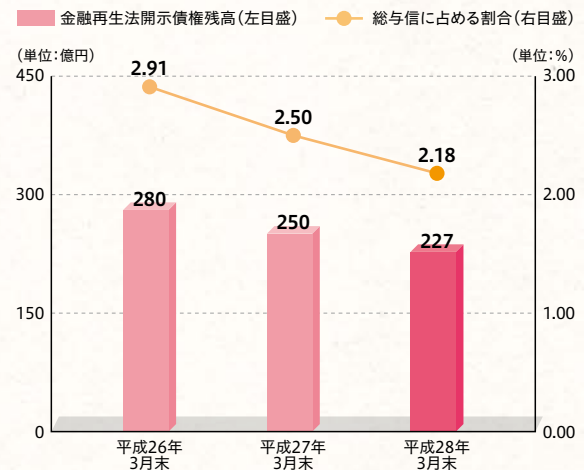


金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、平成27年
3月末比23億16百万円減少の227億19百万円となり
ました。

総与信額に占める割合は、平成27年3月末比0.32
ポイント低下し2.18%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。

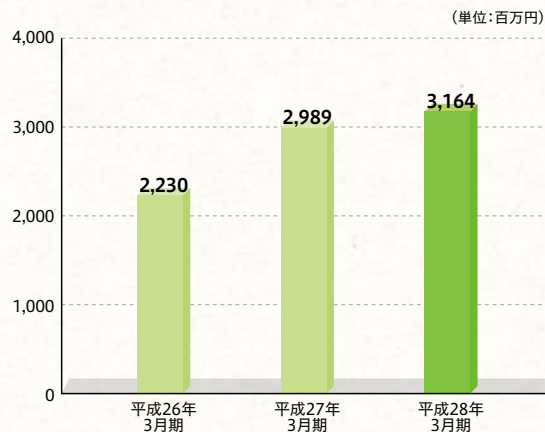
■ 当期純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

業績ハイライト（単体）

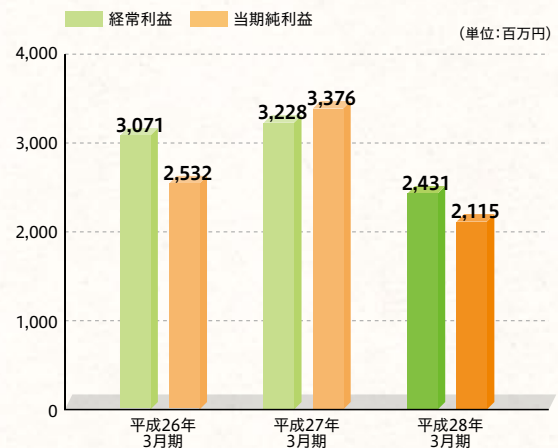
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が増加したことや物件費の削減に努めたことなどから、前年同期比1億75百万円増加の31億64百万円（増減率5.8%）となりました。



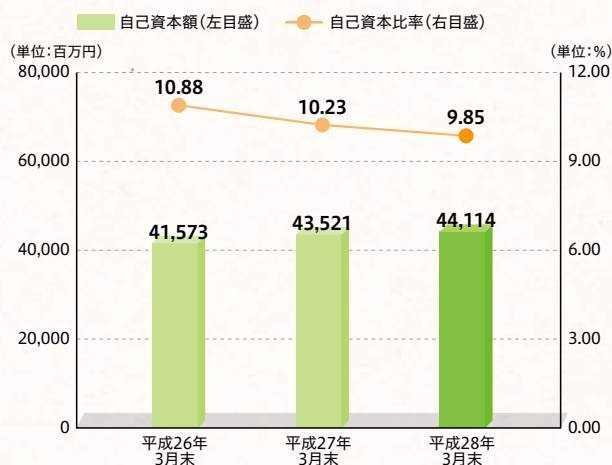
経常利益・当期純利益の状況

経常利益は、前年同期比7億96百万円減少の24億31百万円、当期純利益は、前年同期比12億61百万円減少の21億15百万円となりました。



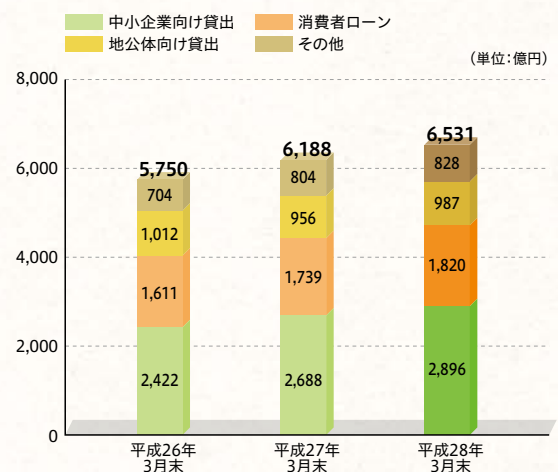
自己資本比率の状況

自己資本比率は、当期純利益を21億15百万円計上したことで自己資本額（分子）が増加した一方で、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット（分母）が増加したことなどから、平成27年3月末比0.38ポイント低下の9.85%となりました。



貸出金の状況

貸出金残高は、震災復興に係る様々な資金需要への対応により、中小企業向け貸出や住宅ローン、個人ローンが増加したことなどから、平成27年3月末比343億16百万円増加の6,531億86百万円となりました。

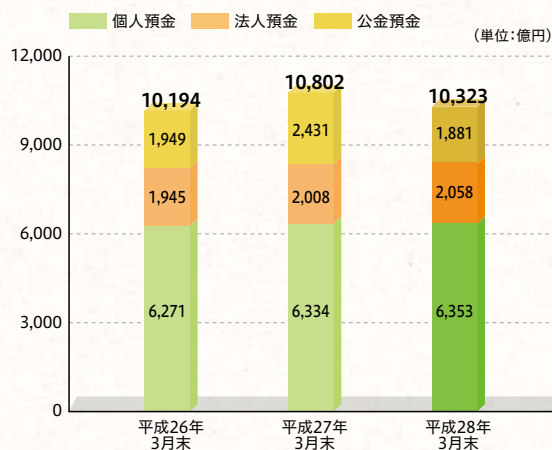


用語解説

■ **コア業務純益** 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。

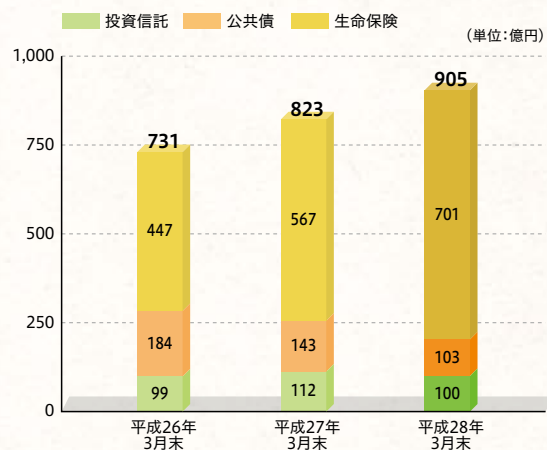
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、公金預金の減少により、平成27年3月末比479億1百万円減少の1兆323億円となりました。



預かり資産の状況

預かり資産残高は、お客さまの資金運用ニーズへの対応により、生命保険残高が増加したことなどから、平成27年3月末比81億91百万円増加の905億28百万円となりました。

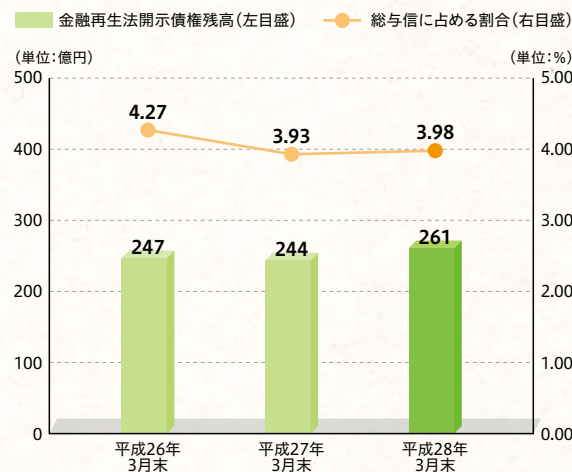


金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、一部の企業のランクダウン等により、平成27年3月末比17億36百万円増加の261億96百万円となりました。

総与信額に占める割合は、平成27年3月末比0.05ポイント上昇の3.98%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。

■ 当期純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

プロフィール・ホームページのご案内

じもとホールディングス

- **本社所在地** 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
- **電話番号** 022-722-0011(代表)
- **設立年月日** 平成24年10月1日
- **資本金** 170億円
- **上場取引所** 東京証券取引所

● ホームページ

<http://www.jimoto-hd.co.jp/>



じもとホールディングスの概要、経営戦略、財務データ、IR情報などの最新の情報をご覧いただけます。

きらやか銀行

- **本店所在地** 山形市旅籠町三丁目2番3号
- **電話番号** 023-631-0001(代表)
- **設立年月日** 平成19年5月7日
- **資本金** 227億円
- **預金・譲渡性預金** 13,138億円
- **貸出金** 10,247億円
- **従業員数** 972人
- **店舗数** 118カ店(県内99カ店、県外18カ店)(注)
(注) ブランチ・イン・ブランチ(店舗内店舗)形式での店舗統合による
実質店舗数は73カ店(うち出張所3カ店)(県内56カ店、県外16
カ店、その他1カ店)。

● ホームページ

<http://www.kirayaka.co.jp/>



取扱商品、サービスやキャンペーンのお知らせなど、さまざまな情報を詳細かつスピーディーに掲載しております。全国的に人気のあるインターネット専用支店もご利用いただけます。

仙台銀行

- **本店所在地** 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
- **電話番号** 022-225-8241(代表)
- **設立年月日** 昭和26年5月25日
- **資本金** 224億85百万円
- **預金・譲渡性預金** 10,323億円
- **貸出金** 6,531億円
- **従業員数** 690人
- **店舗数** 72カ店(注)
(注) ブランチ・イン・ブランチ(店舗内店舗)形式での店舗統合による
実質店舗数は61カ店(うち出張所4カ店)。

● ホームページ

<http://www.sendaibank.co.jp/>



各種商品、サービス、セミナーのご案内など多彩な情報をタイムリーに掲載しております。また、営業店レターでは仙台銀行のある街のとおきの情報をお届けします。



じもとホールディングスでは、当社の経営方針や両行の経営状況をご理解いただくために、IR(インベスターリレーションズ)を定期的に開催しております。

平成28年3月期IR(平成28年7月開催)のハイライト映像をホームページでご覧いただけます。

<http://www.jimoto-hd.co.jp/disclosure/ir.html>

IR開催日程はホームページ(じもとホールディングス・きらやか銀行・仙台銀行)でご案内致します。ぜひお越しください。

株式会社 じもとホールディングス 総合企画部

〒980-0811 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
TEL.022-722-0011(代表)
<http://www.jimoto-hd.co.jp/>

株式会社 きらやか銀行 経営企画部

〒990-8611 山形市旅籠町三丁目2番3号
TEL.023-631-0001(代表)
<http://www.kirayaka.co.jp/>

株式会社 仙台銀行 経営企画部

〒980-8656 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
TEL.022-225-8241(代表)
<http://www.sendaibank.co.jp/>